

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、平成30年度福井県公共工事入札監視委員会（第2回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 平成30年8月22日（水） 9:30～11:30
- 2 場 所 県庁10階 審問廷
- 3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 議題
 - ・入札および契約に係る制度の運用について
 - ・抽出事案審議
 - ・談合その他の不正行為に関する事項について
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) 入札および契約に係る制度の運用について（平成30年4月1日～平成30年6月30日）
 - ・契約件数、落札率の状況について説明
 - ・指名停止の運用状況について説明
 - ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 中山間地域の工事で不調が発生したとのことだが、地域の違いによる積算上での上乘せなどはあるのか。

A 中山間地の工事であっても、積算基準上での割増はない。

Q 災害等の応急復旧工事の場合、まず覚書をかかわすとのことだったが、その覚書には工事の具体的な内容は記載するのか。また、契約はいつするのか。

A すぐに工事をしてもらうことが優先されるので、例えば土砂撤去一式と記載した覚書で対応している。契約については数量が特定できた時点で設計書を作成し、契約締結の手続きを行っている。
 - (2) 抽出事案審議（事前に清水委員が抽出）
 - ア 港湾災害復旧工事29災5号
 - Q この工事は1者のみの入札だったようだが、消波ブロックの製作・据付の工事は応札者がもとも少ないのか。
 - A 本件のような海上施工においては船が必要となるため応札者が少なくなりやすい。
 - Q 工事で使う全ての消波ブロックを製作するとのことだが、買うことはできないのか。
 - A 小さな消波ブロックならば工場で作成したものを買って使うことはできるが、本件で使用する消波ブロックは幅が4mを超えており陸送ができないので、施工場所の近くで製作し船で運んでいる。

イ 園芸拠点施設整備事業 園芸LABO建築工事

Q 内装工事や設備工事は別に発注しているのか。

A 内装工事は本件に含めているが、電気設備や機械設備は別に発注している。

ウ 橋梁補修工事 30-02-1101

Q 平成2年に建設されてから初めて補修を行うのか。

A 塗り替えなどは定期的に行っている。

エ 平成30年度 予防治山工事（通常）

Q 1者応札だった原因は何か。

A 山間地であり現場の状況もあまり良い場所ではないため、業者も応札し難いのだと思われる。

オ 通常砂防工事（防災・安全交付金） 設計業務委託30-3

Q 現地の測量を行わないとできない業務だと思うが、測量は行ったのか。

A 測量業務は別途発注している。

(3) 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が1件あったが、談合の事実があったとは認められなかったことを報告

(4) その他

地域ごとの業者数の増減の推移を示すとよい。